

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	旭グリーンハイツ跡地老人ホーム新	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市東区長嶺南1丁目225	構造	S造	
用途地域	第二種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	130 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年8月29日	
敷地面積	2,464 m ²	作成者	上村 絢茄	
建築面積	1,148 m ²	確認日	2017年8月31日	
延床面積	3,416 m ²	確認者	吉永 拓郎	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		BEE = 1.0		■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																	
★ ★ ★ ★ ★		■ 環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—		
ランク	ランク表示						評価	判定値																													
		BEE値	Q値																																		
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																	
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																	
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																	
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																	
C	★	劣る	0.5未満	—																																	
100 50 0 環境品質 Q 0 50 100 環境負荷 L																																					
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率		■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																	
★ ★ ★ ★ ★		93%		<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>★★★★★★</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>★★★★★</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>★★★★</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>★★★</td></tr><tr><td>100%超</td><td>★★</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	★★★★★★	30%超60%以下	★★★★★	60%超80%以下	★★★★	80%超100%以下	★★★	100%超	★★																				
判定値(排出率)	ランク表示																																				
30%以下	★★★★★★																																				
30%超60%以下	★★★★★																																				
60%超80%以下	★★★★																																				
80%超100%以下	★★★																																				
100%超	★★																																				

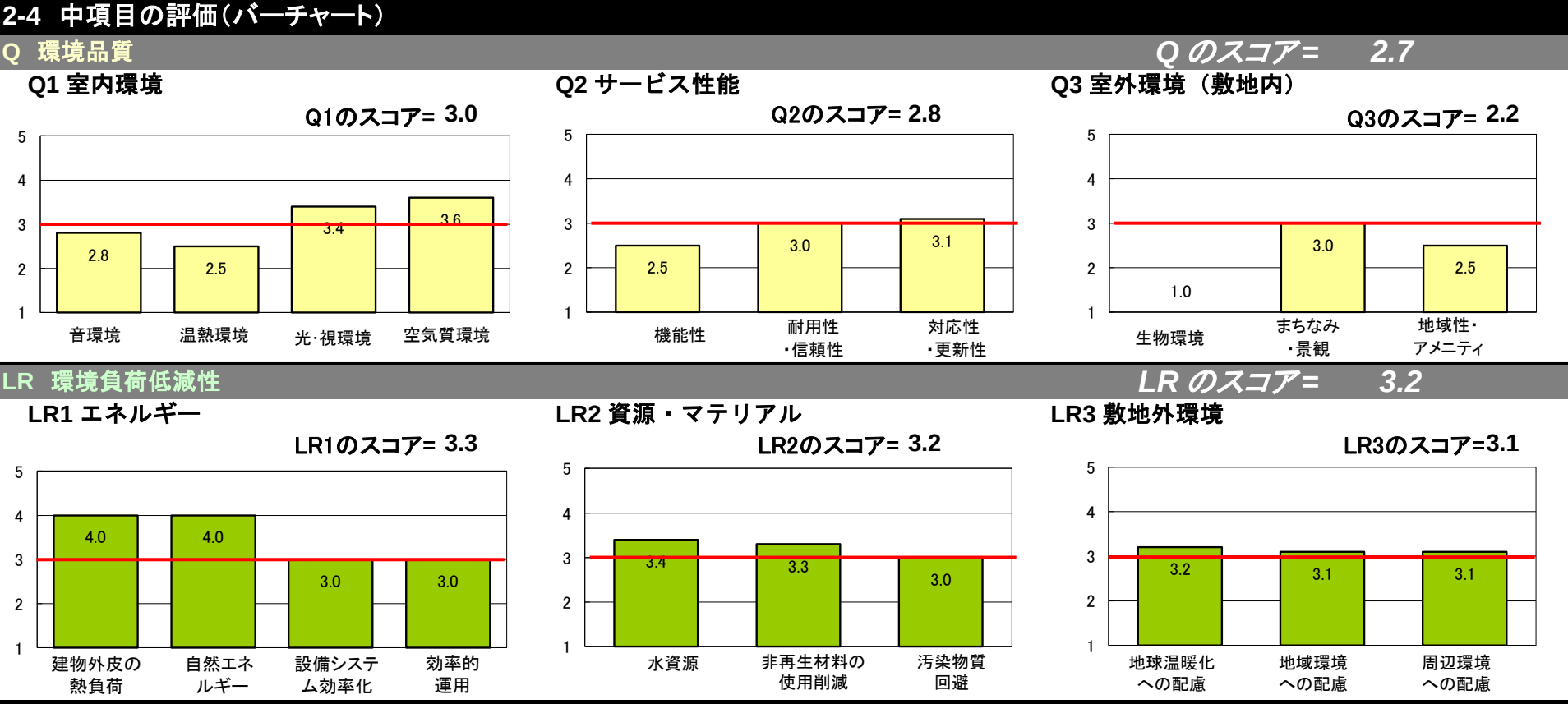
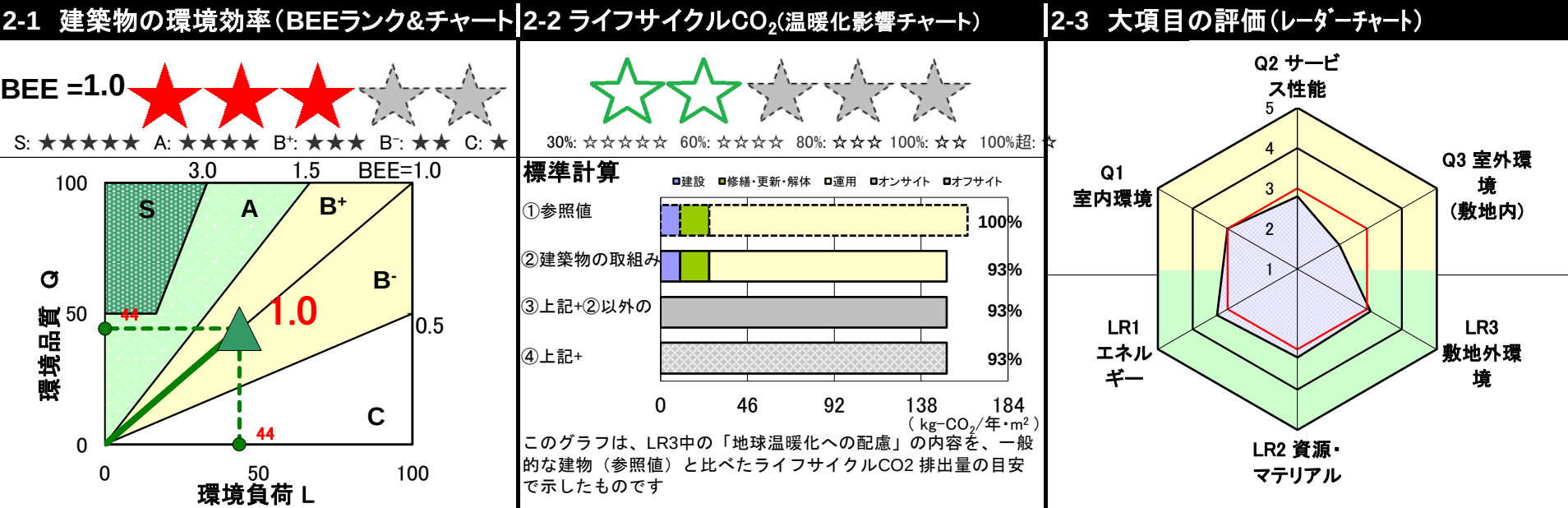
2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価			評価点
   			81
	評価点	熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	89.6	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	100点以上	    
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5	80点以上100点未満	   
【重点事項4】 循環型社会の実現	76.9	60点以上80点未満	  
		40点以上60点未満	 
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	旭グリーンハイツ跡地老人ホーム新	階数	地上4F
建設地	熊本県熊本市東区長嶺南1丁目22	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	130 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年8月29日
敷地面積	2,464 m ²	作成者	上村 絢茄
建築面積	1,148 m ²	確認日	2017年8月31日
延床面積	3,416 m ²	確認者	吉永 拓郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 旭グリーンハイツ跡地老人ホーム新築工事		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境				0.40	-		3.0
1 音環境			2.6	0.15	3.1	1.00	2.8
1.1 騒音		【共用部】待合(ディールーム):50dB 診察(静養室):40dB 【住居部】病	3.0	0.40	5.0	0.40	
1.2 遮音			2.2	0.40	2.4	0.40	
1 開口部遮音性能			1.0	0.40	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			2.5	0.35	2.6	1.00	2.5
2.1 室温制御		【共用部】待合、診察 【住居部】病室 外皮U:0.542 窓SC:0.50 U:	3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能			4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境			3.4	0.25	3.6	1.00	
3.1 昼光利用		【共用部】待合:2.00% 診察:4.36% 按分:2.214% 【住居部】病室: 【共用部】待合:トップライト 診察:なし 【住居部】病室:なし 【共用部】【住居部】カーテンボックス+庇(室外機置場)	4.4	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率			4.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-	-	-	-	
3 昼光利用設備			5.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御			3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境			3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		【共用部】【住居部】建築基準法を満たす、原則全てF☆☆☆☆の採用	4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策			-	-	-	-	
4.2 換気			2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御		【共用部】全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.8
1 機能性			2.5	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		給水HIVP:B、雑排水VP:B、汚水VP:B	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		

	2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-		
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.2	0.30	2.7	1.00	3.1	
	3.1 空間のゆとり		【共用部:1階フロア】比率:0.21 【住居部:居室】 比率:0.36	3.4	0.30	2.4	0.50		
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-		
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-			
	3	電気配線の更新性	5.0	0.10	-	-			
	4	通信配線の更新性	5.0	0.10	-	-			
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-			
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m :0.64	4.0	0.20	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用			トップライト	4.0	0.10	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化				3.0	0.50	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00	-	-		
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-		
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-		3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-		
	4.1	モニタリング		-	-	-	-		
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-		
	LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-		-
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水		自動水栓、節水型機器	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3	
	2.1 材料使用量の削減		S造、LGS・躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ・内装材と設備が錯	2.0	0.10	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-		
	3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-		-
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
	1	消火剤		-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-		-
1 地球温暖化への配慮			高効率設備	3.2	0.33	-	-	3.2	
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1	
	2.1 大気汚染防止		I 1)駐輪場 II 1)適适量の駐車スペース 2)サービス通路 3)駐車場導入	3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制		5.0	0.33	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
	3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-		-
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		1)「光害対策ガイドライン」のチェックリストの一部を満たす 2)広告物照明な	3.0	0.40	-	-		
	1	騒音		3.0	1.00	-	-		
	2	振動		-	-	-	-		
	3	悪臭		-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-		
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観に調和した色彩を採用して、突出しないまちづくりに配慮した。立地する場所が用途地域上、住民が多いことから、道路面からの圧迫感に配慮して、建物位置を後退した。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆建材の使用、全館禁煙とし施設内の空気質環境に配慮した。

Q2 サービス性能

1階に広い空間を設けシンプルな動線計画とし、施設利用者にわかり易く自由な活動が出来る様な平面計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

道路に接する場所を建物とし、景観環境や雨水対策に配慮した。

LR1 エネルギー

居住スペースを複層ガラスとし、遮熱性を高めた。高効率の照明、空調機器を採用し、省エネルギーに努めた。

LR2 資源・マテリアル

省水型の器具を採用し、水資源保護に努めた。

LR3 敷地外環境

適切な数の駐車スペースを計画し、出入口を2ヶ所設けることにより、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 旭グリーンハイツ跡地老人ホーム新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		81
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				89.6	0.40	35.84
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.4	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.3	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				76.9	0.20	15.38
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.1	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数